



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2234
2015-6-12

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホエン

本日の例会) 6月12日(第2例会)

- 卓話 「会合の評価」
地区大会、例会、またRCだけでなくすべての会合の評価は勉強になったか、親睦が広まったか!楽しかったかの三点である。
西村五郎会員

松田文雄(広島城南)

米田幹朗(大阪南)

Nur Izzatur Binti Ismail(米山奨学生)
ヌル イザトゥール ビンティ イスマイル

◆ 会長挨拶 ◆

6月6~9日にブラジル・サンパウロで第106回RI国際大会が開催されます。国際大会は会計年度最後の3ヶ月間に開催されます。目的は国際レベルにおいて全ロータリアン、特に次期クラブ会長、RI及びRCの役員を鼓舞し、激励し、情報を与え、各地区のロータリーの発展を推進するためのものです。世界中から集まったクラブ代議員が会長やRI理事を含む次年度のRI役員を選挙する大会です。

次週のお知らせ) 6月19日(第3例会)

- 卓話 「2014-2015年度ふりかえって」
尾崎敬則副会長
- 食膳 〈中国 円卓料理〉

◆ 幹事報告 ◆

- 地区より若手ロータリアン勉強会、懇親会開催の案内が来ております。
講師は岡部泰鑑パスト・ガバナーです。入会5年未満の方、ふるってご出席くださいますようお願いいたします。
- 東大阪東RCより創立50周年の記念誌が届きます。回覧しますのでご覧ください。
- 7月3日に安藤忠雄氏の講演会があります。パンフレットをポストに入れておりますので、住宅に興味のある方、これから家を建てようとしている方、500円です。是非行ってみてください。勉強になると思います。

次々週のお知らせ) 6月26日(第4例会)

- 退任挨拶
井上裕貴会長
中谷徹雄幹事
村上泰啓SAA

先週の記事) 5月29日(第5例会)

- 出席報告
出席会員 42名(内免除会員12名)
会員総数 50名(同上16名)
ゲスト 1名
ビジター 2名
計 45名
ホームクラブ出席率 91.30%

5月22日(第4例会)補正出席率 97.83%(MU1名)

- ゲスト&ビジター(敬称略)

6月はロータリー親睦活動月間です!!

◆ 委員会報告 ◆

① ロータリー財団・米山奨学委員会

永井正美委員長

今期も残り1か月足らず。ご協力いただいたおかげで、ロータリー財団の寄付額は、地区要請額に達しました。ただ米山奨学が、地区要請額に対して約60万ほど足りません。皆さんお忘れでないでしょうか。よろしくをお願いします。

② 次年度クラブ奉仕委員会

西谷雅之次年度副会長

第1回クラブフォーラムを例会場にてクラブ協議会終了後行います。議題は「委員会活動における温故知新」

③ 5月23日、24日に行われたゴルフ同好会の優勝者の光信昌明会員への、会長からの優勝トロフィーの授与式。



▲ ゴルフコンペ優勝トロフィー授与



▲ 広島城南ロータリーの松田会員をお迎えて

卓話

6月5日 <第1例会>

「親睦と奉仕」について



武田善博会員

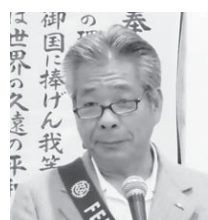
親睦という言葉は辞書で引くと「互いに親しみ合い、仲良くする」とあります。ロータリーの言葉にも「親睦」がよく出てきます。これは皆と仲良くすることなのではないでしょうか？

親睦を図りたいなら、誰にだって無限の機会があります。気の合う仲間とゴルフや旅行に行くことや、カラオケやバーでも親睦を図ることはできます。一人一業種だなんて難しいことを言わなくても、同業者同士でも充分親睦は図れます。ロータリアンになって、例会に出席しなければ親睦が図れないという理屈を非ロータリアンが聞いたなら、こじつけとして一笑に付されるかもしれません。

ではロータリーで言う「親睦」は他と何が違うのでしょうか？ロータリーではいわゆる親睦に始まり親睦に終わるとするのは駄目で、「親睦と奉仕」の調和が必要なのではないでしょうか。親睦を深めることによってお互いが啓発され、その際に生じる感動が自然に「人の為になることをしたいという気持ち=奉仕」になるのだと思います。定款の綱領第1には「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」と書かれています。

これからも奉仕の理念を奨励し頑張ってもらいますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

「ロータリークラブの親睦」について



小原一真会員

ロータリークラブの親睦についてというテーマで、入会浅い今の私なりに思うことを話させていただきます。入会一年目、初めての卓話のプレッシャーに負けそうになっていた頃、某先輩からすばらしいアドバイスをいただきました。「卓話の機会に自分

自身のことを皆さんに知っていただき、そこからロータリーの親睦が始まるのですよ」と。何とか卓話を終えた直後に、複数の方から声をかけていただき、会食の機会や会社訪問の機会をつくっていただくことが出来ました。

次にこの一年をふり返ってというテーマでは最も印象に残るのは、ゴルフ部久々の遠征の幹事を、おおせつかったことです。色々といきとどかなかったことと思いますが、いつもはお話しにくい先輩方とも役割上色々と接することが出来、貴重な経験をさせていただきました。有り難うございました。

「ロータリークラブの親睦」について



宇津井隆男会員

私は2年前の6月21日に当クラブに入会し、今月末で親睦・出席委員を2年間務めさせていただくことになりました。

入会当日は到底みなさんの顔を一度に覚えることはできませんでしたが、翌年度から親睦・出席委員を仰せつかり、毎週立礼してお顔と名札を拝見している内にお名前を覚えることができました。

コミュニケーションは挨拶から始まります。「こんにちは」と繰り返し言葉をおかけしているうちに、長年のお付き合いをさせていただいているような親近感が生まれました。

次年度も親睦・出席委員を仰せつかる予定になっておりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

「私の中の親睦」



奥田秀行会員

ロータリーに入会し、親睦委員となって2年目を終えようとしています。この2年間、私が親睦委員として心がけてき

たことは、例会に出席されるクラブ会員からゲストに至るまで気持ちよく例会場に入って頂き、気持ち良く帰って頂くようにすることでした。その為に、まず自らの挨拶を元気よく、更に笑顔でお声掛けするということを第一に心がけて活動して参りました。また、例会に毎週出席することは会員同士の親睦を深め、先輩方との融和を図ることが出来る素晴らしい機会であるということを改めて感じております。次年度も親睦委員を務めさせていただきますが、更に精進して参りたいと思います。

「私の親睦活動」



三宅善太郎会員

当クラブに入会し、丁度3年になります。その間ずっと、親睦・出席委員会に所属しており、出来る限り色々な会に出席するよう心掛けて参りました。

様々な経験を通してやっと少しは馴れてきたように感じています。委員としての思い出は、年末家族会でお手伝いをさせて頂いたことです。特に司会進行は冷や汗ものでした。個人的にはゴルフや宴席のお誘いを頂いて、同行の方々と親交を深められたことが良い経験となっております。今後も公式、非公式を問わず多くの行事に参加し、諸先輩方との親睦の機会にできればと考えています。

「ロータリーの親睦」について



村上武史会員

ロータリークラブに入会させていただいて数年が経ち、「新人です」という言い訳が出来なくなったのですが、ロータ

リーの良い面、悪い面が少しは見えてくるようになりました。

初めは悪い事が有ると「この先続けて行けるのかな」と不安でしたが、これは商売にも通じることで、前向

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

きに動かなければ何も始められないのと同様にできるだけ良い面を見て行動していく、そのなかで業界の異なる人々との交流、親睦は何よりのロータリー継続の方法だと今は強く思います。

皆様、これからも宜しくお願いします。

ロータリーの「親睦」と「奉仕」

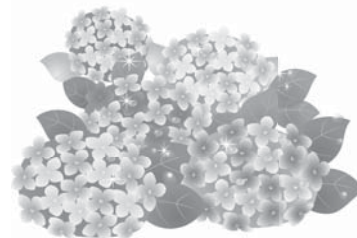
浅井 晃会員

高度な進化がもたらした弊害については、かねてより指摘があり問題視されてきました。これらの問題を解決しようとする時、互いに異なる専門領域同士の有機的連携、すなわち「橋渡し」が必要となります。それぞれの専門領域相互間での「橋渡し」、言い換えれば専門領域同士の「ハイブリッド化」が求められているのです。このハイブリッド化が可能となれば、相加効果あるいは、相乗効果として新たな技術革新や、先端技術の応用活用範囲の拡大を期待できるのではないでしょうか。現在の技術革新の方向性として、このようなハイブリッド化が次なる発展のために大いに期待されています。

ただし、専門家同士の出会いが無ければハイブリッド化は望むべくもありません。自由度が高い新たな発想を得るためには、このような出会いは、利害関係が無い二者間で成立することが望ましいのですが、一般的に商業取引などの場面では利害関係を基盤とした出会いの例が多く、利害関係の存在しない関係成立は少ないのが実状だろうと思われまます。

ところで、原則として一業種一人で構成されているロータリークラブにおいては、もとより会員相互に利害関係はありません。したがって、ロータリークラブにおける「親睦」は、自然な形で利害関係を持たない専門家同士の出会いの場となっています。営利を目的としない出会いであるが故に、自由な発想を生む可能性を秘めた「出会いの場」となっていると思います。

ロータリークラブにおいては、「親睦」を通じてそれまでは全く知らなかった、また知ろうとしても到底知り得なかった世界に触れることが可能になります。そして生まれた発想・アイデアは、更に高い次元での職業を通じた社会奉仕に繋がってゆくアクティビティを内在しているのではないのでしょうか。「親睦」によって初めて得ることができる「専門領域のハイブリット化」を通しての社会奉仕は、ロータリークラブでのみ成し得る内容と意義のある「奉仕」になっていると確信いたします。



にここ箱

6月5日(第1例会)

- 先週歓迎会を開いていただき、誠に有難うございます。
池宮会員
- 濱田さん、久しぶりの原田さんと一緒にSAA頑張ってください。
南賀会員
- 小原さん、写真有難うございました。
三宅会員
- 4分間スピーチ卓話者の皆さん、よろしくお祈りします。
中谷(佳)会員
- 腰痛で弱っていました。
野中会員
- お祝い 20件

(編集担当 武田・大原)

会員増強にご協力を!!